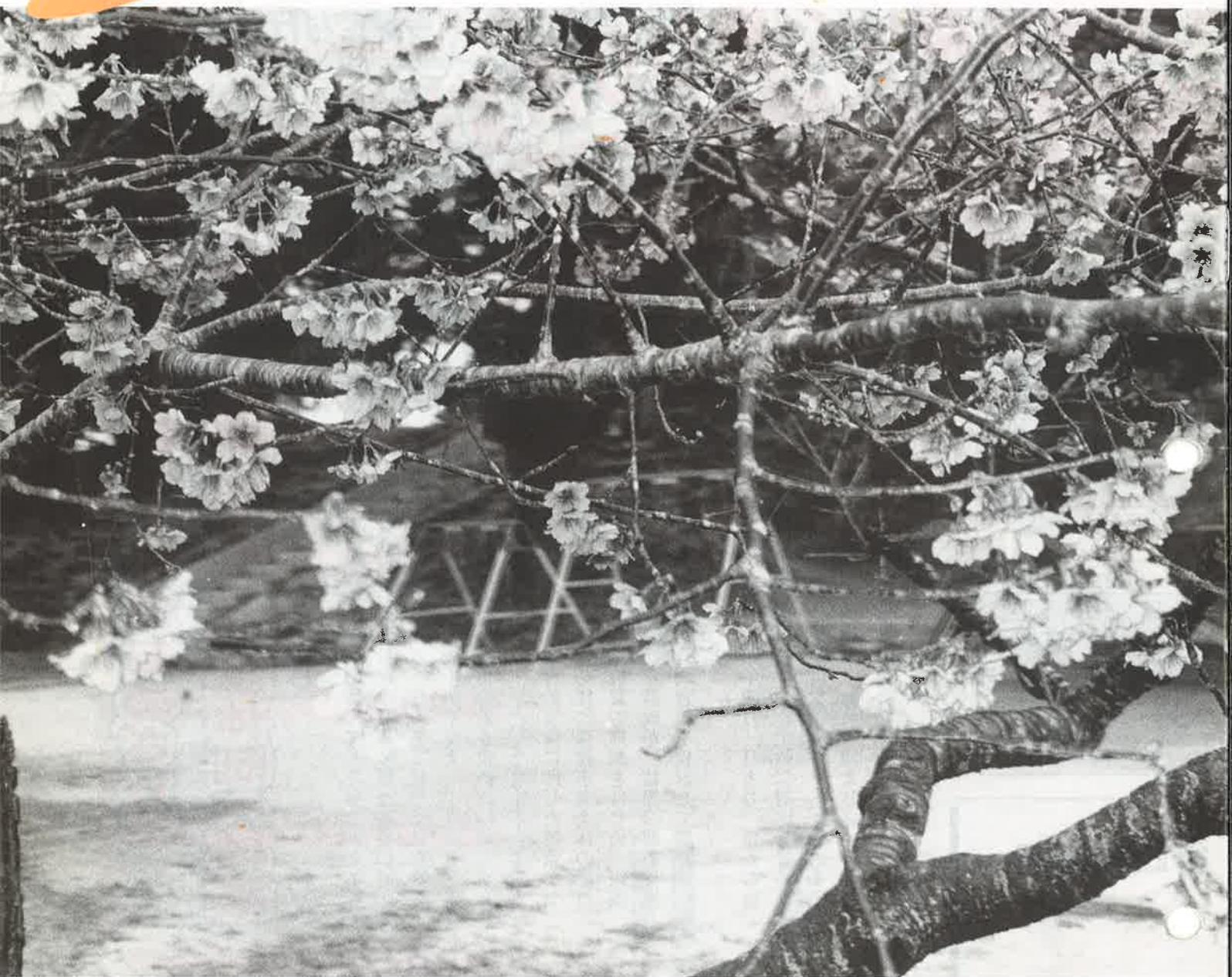


≡ 美しき空間 ≡
ちゅうとくま



●「早春…桜」(Photo:Asami Tanaka)



今帰仁村

なまきん

広報

Nakijin

毎月1日発行

今帰仁村民憲章

- 一、みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

2002年 2月
315号

さらに利用しやすく

役場が新しく変わります!

年金・介護(業務)を本庁舎1階に集中配置

～第3次～ 今帰仁村行政改革大綱

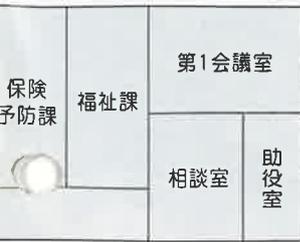
きめ細やかな住民サービスをめざして

これまでの13課体制から10課体制へ再編

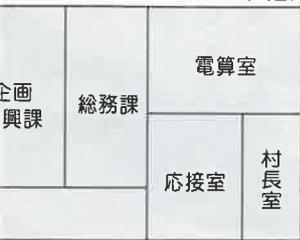


◎各庁舎配置図

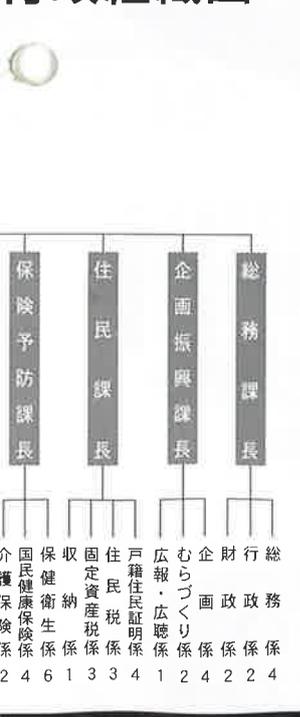
本庁舎(1階)



(2階)



行政組織図



二十一世紀を迎え、めまぐるしく移り変わる今日の社会情勢の中、村民の多種多様な需要に適切に対応し、活力に満ちた魅力ある村づくりを築きあげていくために平成十四年度より、今後五カ年にわたる村行政の運営方針を定めた「第三次今帰仁村行政改革大綱」がいよいよスタートします。

今回の大綱では、本村の実情に即した簡素で効果的な事務事業の推進を柱に事務事業全体の総点検見直しを実施、歳出経費の抑制をはじめ、組織機構の見直し、職員の意識改革、情報公開の推進など業務全般にわたり改善策を検討して参りました。

その結果、平成十四年四月一日より、新たな行政課題により効率よく、より柔軟に対応していくため、組織(課)の統廃合を決定、これまでの十三課から十課へと再編し、職員一同より良く、きめ細かい村民サービスの提供に努めて参ります。

平成十四年度の主な再編内容

- ① 総務課に企画財政課の財政部門を統合し、電算業務、広報を企画振興課へ移管します。
- ② 企画財政課から財政部門を総務課へ移管し、企画振興課に名称を改め、新たにむらづくり係を設置し、重要事項の展開を図っていきます。
- ③ 住民課から国民年金を福祉課へ国民健康保険を保険予防課へ移し、税務課を統合します。
- ④ 保健予防課の保健衛生と環境衛生を一つにまとめ、国民健康保険と介護保険を同課に移すことで、医療費の抑制と村民の健康づくりを推進、名称を保険予防課に改めます。
- ⑤ 福祉課の福祉係にある介護保険を保険予防課に移管します。
- ⑥ 経済課に農業委員会を統合し、商工係を企画振興課へ移管します。
- ⑦ 水道課を廃止し、建設課に統合します。
- ⑧ 社会教育課に新しく社会体育係を配置し、村運動公園の施設管理及び村体育協会事務局を司り、また、歴史文化センターと文化財係と緊密な連携を図っていきます。
- ⑨ 今回、課等の統廃合に関連し、建設課に水道担当主幹と経済課に農業委員会担当主幹を置き、課長職を配置しますが、将来的には補佐職の位置付けとします。

各課の主な業務内容

総務課

- 1 職員の人事給与に関すること
- 2 議会及び一般行政に関すること
- 3 防災に関すること
- 4 財政に関すること
- 5 他課の所管に属さないこと

企画振興課

- 1 村勢振興及び地域総合開発に関すること
- 2 企画に関すること
- 3 統計に関すること
- 4 普通財産に関すること
- 5 広報・広聴に関すること
- 6 電算全般に関すること
- 7 商工観光に関すること

住民課

- 1 戸籍及び住民登録に関すること
- 2 窓口業務に関すること
- 3 村税及び県民税の賦課徴収に関すること
- 4 固定資産評価に関すること
- 5 土地家屋に関すること

保険予防課

- 1 保健予防に関すること
- 2 環境衛生に関すること
- 3 公害に関すること
- 4 老人保健に関すること
- 5 国民健康保険に関すること
- 6 介護保険に関すること

福祉課

- 1 社会福祉に関すること
- 2 児童福祉に関すること
- 3 老人福祉に関すること
- 4 心身障害者福祉に関すること
- 5 国民年金に関すること

経済課

- 1 農林水産及び畜産に関すること
- 2 農地及び農道に関すること
- 3 農業構造改善事業等に関すること
- 4 土地改良事業に関すること
- 5 農林土木に関すること

建設課

- 1 土木に関すること
- 2 住宅及び建築に関すること
- 3 道路河川及び港湾に関すること
- 4 各公共施設の建築に関すること
- 5 簡易水道事業の管理運営に関すること

議会事務局

- 1 議員の身分に関すること
- 2 議会全般に関すること
- 3 監査全般に関すること

学校教育課

- 1 学校教育に関すること
- 2 幼稚園に関すること
- 3 村育英会に関すること
- 4 学力向上対策に関すること
- 5 盲学校・聾学校・養護学校への就学、転入、編入に関すること

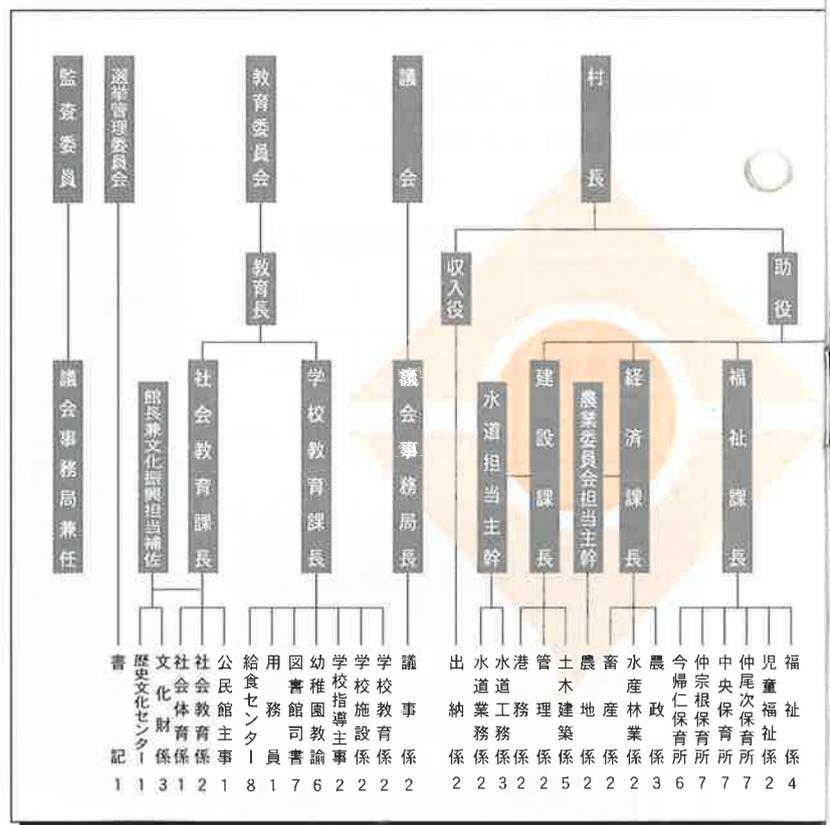
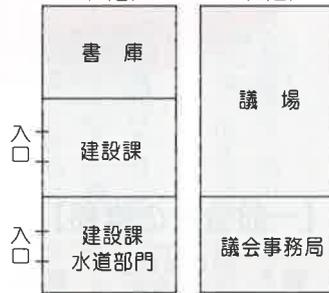
社会教育課

- 1 社会教育に関すること
- 2 生涯学習に関すること
- 3 公民館・図書館に関すること
- 4 文化財及び文化復興に関すること
- 5 村運動公園に関すること
- 6 村体育協会事務局に関すること

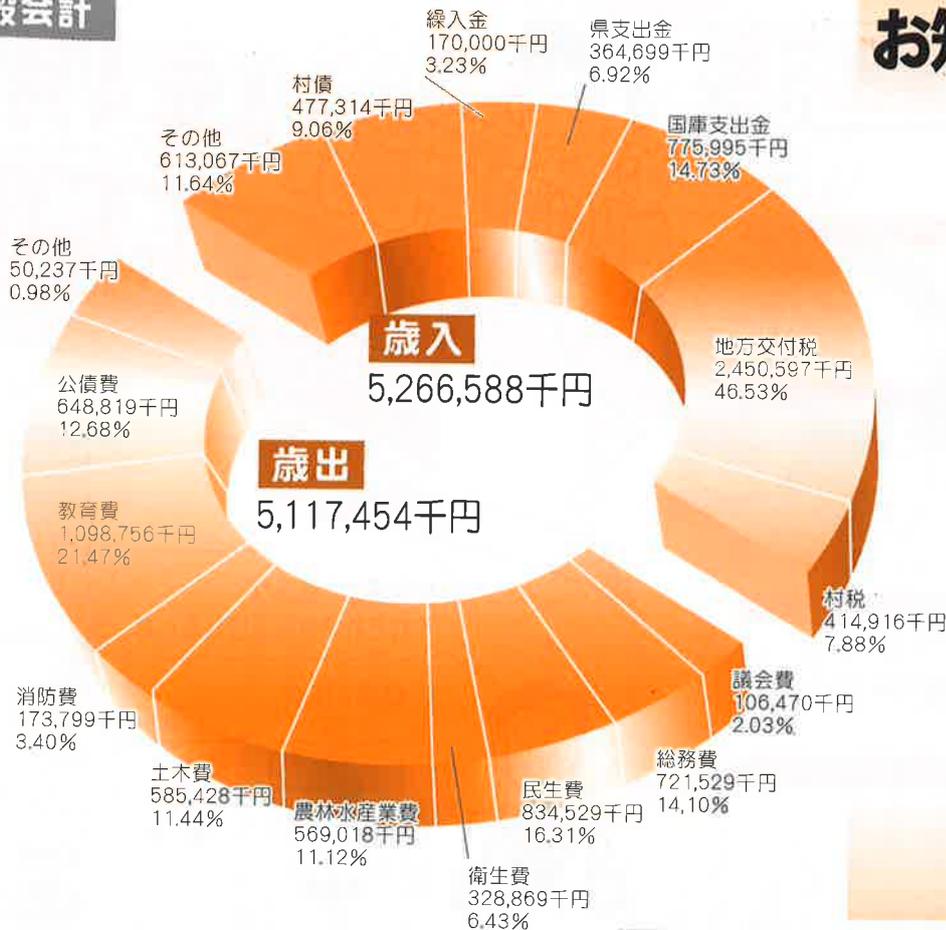


税務課と水道課がそれぞれ合併吸収されるんだ

◎第2庁舎 (1階) (2階)



一般会計



お知らせします

平成十二年度
今帰仁村の決算

【一般会計の推移】

年度	区分	歳入	対前年度増減率	歳出	対前年度増減率
平成12年度		5,266,588	△12.05%	5,117,454	△10.57%
平成11年度		5,988,287	16.35%	5,722,207	13.67%
平成10年度		5,146,596	△9.80%	5,033,890	△9.40%

【特別会計】

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	1,202,561	1,135,219	67,342
老人保健	1,363,937	1,378,484	△14,550
水道事業	231,797	264,793	△32,996

村債の内訳 (平成13年3月31日現在) 単位:千円

過疎対策事業債	1,926,142
義務教育施設整備事業債	550,912
公営住宅建設事業債	332,520
公共事業臨時財政特例債	10,799
一般単独事業債	887,369
財源対策債	78,905
県貸付金	214,506
臨時財政特例債	63,814
一般公共事業債	205,519
災害復旧事業債	9,106
減税補てん債	95,425
臨時税収補てん債	28,000
合計	4,403,017

村有財産状況 (平成13年3月31日現在)

<p>建物 5,251,375㎡</p>	<p>土地 5,986,985㎡</p>
<p>車輛 38台</p>	<p>有価証券・基金・出資出損金 1,591,209円</p>

主な事業

- ◎村道整備事業 (兼次今泊線、諸志山釜原線、仲尾次前平当原線、中央線、勢理密和呂目線、上運天大久保原線)
- ◎今帰仁村保健センター施設整備事業
- ◎並型魚礁設置事業
- ◎運天漁港局部改良事業
- ◎義務教育施設整備事業 (今帰仁小体育館)
- ◎古宇利、呉我山災害復旧事業
- ◎林道整備事業 (仲尾次尾山線)
- ◎統合中学校用地購入事業

県指定文化財に今帰仁村から三件

■湧川の路次楽
(無形民俗文化財)

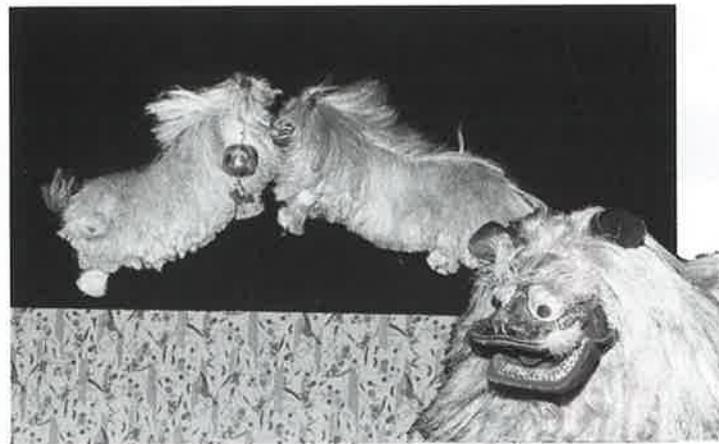
■謝名のアヤチ獅子
(無形民俗文化財)

■山北今帰仁城監守来歴碑記
(有形文化財)



■湧川の路次楽■ (無形民俗文化財)

路次楽は中国伝来のもので、琉球国王の道行きの「さきぶれ」として演奏されていました。湧川に路次楽が伝わったのは約250年前、王府の楽師であった與儀家の先祖が湧川に移り住み、村踊りに取り入れてからだと言われています。



■謝名のアヤチ獅子■ (無形民俗文化財)

謝名のアヤチ獅子は、普通の獅子舞とは異なり、雌雄二頭の小型の獅子を裏方が糸で操る獅子舞のことで、中央に吊された黄金の玉に噛みつかんと飛び跳ねたりじゃれあったりしながら踊る県内でも珍しい民俗芸能のひとつです。

今回の指定は無形民俗文化財が十三年ぶり、有形文化財は二十年ぶりの県指定となっています。村内にはまだ未指定となっている保存・継承すべき貴重な文化財が数多くあり、村教育委員会ではこれらの重要かつ貴重な歴史的文化遺産を後世に正しく継承していくために村指定あるいは県指定へと申請することで、歴史的あるいは文化的な価値がさらに認識され、村民の誇りにつながっていくものと期待しています。

沖縄県教育委員会は、平成十三年十二月十九日の定例教育委員会会議で「湧川の路次楽」と「謝名のアヤチ獅子(操り獅子)」の二件を県指定無形民俗文化財に、「山北今帰仁城監守来歴碑記(古文書)」を県指定有形文化財に指定することを決定しました。「湧川の路次楽」については、ムラウドウイ(村踊り)を特色つけるものであり、農村社会において外来文化がどのように受け入れられていったかを示すものとして、また謝名の「アヤチ獅子」は、県内でも珍しい民俗芸能のひとつとして貴重であることが評価されました。歴史文化センターに所蔵されている「山北今帰仁城監守来歴碑記」は、完全な形で保存状態もよく、琉球王国時代における北山監守の歴史を知る上で貴重な史料であることから今回の県指定となりました。

■山北今帰仁城監守来歴碑記■ (有形文化財)

「山北今帰仁城監守来歴碑記」は、今帰仁按司(北山監守)第十世宣謨が1749年に今帰仁城が一族の永代御願の地として首里王府から許されたことを記念して建立したもので、今帰仁按司一世から七世に至る歴代の按司が今帰仁城を立派に治めてきたことを記し、子孫に伝えるための顕彰碑です。



▲保存状態が良くほぼ完全な形で残る「山北今帰仁城監守来歴碑記」(原物)

▲今帰仁城跡・本丸跡には、複製が鎮座されている

なきじん
この人 8

第38回全沖縄青少年読書感想文・感想画
コンクールで最優秀賞を受賞
奥原 伶奈さん(湧川中学校 3年)



趣味は「読書」と迷わず答える奥原さん。「本の中には夢とロマンがあり創造力が広がります。」と話す。

「ハンセン病」と宣告されてから家族や友人とも離れ、偏見や差別に苦しみながらも前向きに懸命に生きてきた伊波敏男氏の半生を綴った『花に逢はん』を読んで、その思いを書き綴った湧川中学校三年

年・奥原伶奈さんの読書感想文がこの度、第三十八回全沖縄青少年読書感想文・感想画コンクール(主催・県学校図書館協議会、琉球新報社ほか)中学校第二類(ノンフィクション)の部で見事、最優秀賞を射止めた。

奥原さんは「どんなにつらい立場にあっても決して希望を捨てずに、前向きに力強く生きてきた著者、伊波さんの姿に心うたれた」と話す。また「私自身、これからどんなに困難なことに遭遇しても前向きに自分らしく、そして周りの人に思いやりをもって接することの出来る強い人間になりたい」と層思うようになった。」と振り返る。

今回、この本を題材に選ん

だ理由についても「以前読んだこの本に対する自分自身の思いがずっと、胸の中に残っていて、いつかみんなに伝えることができればと思っていました」と語る。そんな心の思いを一気に書き連ねた作品は、県代表十作品のひとつとして毎日新聞社主催の全国大会にも出品され、現在、審査結果を待っている。

栄えある最優秀賞受賞の快挙と全国大会への出品は新聞紙上で初めて知ったと話す奥原さん。「こんなすごい賞をいただけるなんて思いもしなかった、指導してくれた名城久美先生に感謝したい」と素直に喜びを語り、さわやかな笑顔を見せてくれた。

幼少の頃から絵本が好きでいつのまにか本を読むことが

楽しみに変わっていったという読書大好き少女。四月にはあこがれである中学の国語教師を目指して、地元、北山高校に進学したいと目を輝かせる奥原さん。これからも夢に向かって得意な分野をどんどん伸ばしてほしいものです。

なお、受賞者の表彰式は二月九日に那覇市・琉球新報ホールで行われる。

最優秀賞
受賞作品

「花に逢はん」を読んで

湧川中学校三年

奥原 伶奈

「ハンセン病原告訴訟勝訴」になげなくテレビを見ていた私の目に、この言葉が飛びこんできました。

私の通う学校は、小高い丘の上にあり、眼下には羽地内海が見下ろせ、美しい島々が並んでいます。その一つが屋我地島です。しかし、その島で長い間ハンセン病で差別を受け続け、苦しんでいる人々がいたなんて思いませんでした。なにせ私は、ハンセン病たるものを知りませんでした。しかし、あの言

葉を目にしてからの私は、ハンセン病について知りたいと深く思うようになりました。

ハンセン病。それは、らい菌によっておこる伝染病。しかし、その感染力は非常に弱い。私が調べることが出来たのは、これだけでした。その奥の患者とその家族の苦しみ、辛さ、絶望を知ることが出来たのは「花に逢はん」を読んだからです。

ハンセン病と宣告された俊男。そして、初めは受け入れるのを拒んだ家族。私は「彼の家族は、

ハンセン病の身内がいて大変だな」と思い、家族の気持ちかわかるような気になりました。しかし、それはただの同情にすぎなかつたのです。本当の気持ちを知っているのは、ハンセン病患者を持つ家族だけなのです。相手の立場になって考える。これは何かにつけてよく耳にする言葉です。しかし、この言葉がいかに実行しづらいか、身にしみて感じさせられました。

今の私は、苦しいことから逃げたくて、苦勞らしい苦勞もせず、与えられる物すべてにありがたいと感じるわけでもなく、のほほんと生きています。そんな私と正反対の彼の生き方、考え方に興味を



▲チームワークと鉄壁な守備で旋風をまきおこした兼次中野球部のメンバー

兼次中学校野球部			
監督：仲村清光			
コーチ：石川清陸			
背番号	名前	学年	
1	上間 広野	2	
2	平安山 良平	2	◎
3	島袋 奨	2	
4	玉城 舟作	2	
5	仲宗根 宗一	2	
6	山城 直之	2	
7	金城 浩司	2	
8	与那嶺 勇二	2	
9	親川 圭太	1	
10	玉城 誠也	1	
11	上間 嘉人	1	

さわやかイレブン大活躍!!

兼次中野球部が県大会で準V

沖縄県中学校新人軟式野球大会



十二月二十六日から三日間、沖縄市宮球場を主会場に開催された県中学校新人軟式野球大会で村立兼次中学校(新城英彦校長・生徒数百九人)の野球部(部員十一人)が並み居る強豪を撃破し、見事、準優勝に輝いた。

少年野球時代から生徒らを見守る石川清陸コーチは「投手を中心とした守りには絶対

の自信がある」と話すように、地区予選の決勝を除く、全ての試合を一点差で勝ち抜いてきたことで選手たちは自信を深めると同時にたくましさも身につけたようで、主将の平安山良平君は「自分たちがここまで(県大会決勝戦)やれるとは思っていませんでした。でも、次は絶対に優勝を狙います」と語り、口元を引き締めた。

学校自体が文武両道を掲げていることもあって、今回の大活躍は学校や地域も大喜び、監督の仲村清光教頭も「スポーツのみならず、全ての面において課題意識をもち、主体的に取り組む姿勢が素晴らしい。」と他の模範となる生徒らの頑張りを称えた。

持ちました。戦争を経験し、ハンセン病と闘い、ハンセン病と共に生き、希望を捨てずに勉学に励んでいた彼。

しかし、彼が持っていた思い「人間は平等」、「病気が治癒すれば、社会の営みの中で普通に生きたい」というのは、誰にでもありそうで、実はないものだったと私は思います。現実、それは差別という行為があったから

です。これは、異国のことではなく、この日本の日本人同士がです。このことに気づいている人が、今の世の中にどれほどいるのでしょうか。遠い海の向こうの人種差別を論じる前に、身近な差別を考えなければいけないと思います。

私がこんなことを考えるようになってから気づいたことがあります。彼は発病した頃、死にたいとよく思うようになっていました。彼を死にたいと思わせたいのは「らい予防法」による強制隔離をとった日本の医療政策と、ハンセン病患者の人としての尊厳を無視した社会からの偏見と無知からだと思えます。もし、私が彼と同じことになっていたら、果たして生きてゆけたでしょ

うか。自分を苦しめてまで生きようと思ったでしょうか。きっと私はどうして自分だけがと世間を恨み、人を憎んだりして逃げるこ

としか考えなかったでしょう。でも彼は、自分の外見にぐるぐる巻かれたハンセン病という名の包帯を解き、その内に秘めた本当の自分を見つけて出すために生きることを選んだのだと思います。

「生きる」それはそれだけで素晴らしいことにちがいません。世の中にはいろいろな人がいます。生まれながらにハンデ

ィを背負いながらもみんな精一杯生きています。

私は以前、障害者を快く思っていない時がありました。その時母に「あなたが、もう少し大きくなったらちゃんと受け入れることが出来るよ。」と言われました。「花に逢はん」を読み、

伊波さんの生き方を知った今の私は、その言葉の本質がわかるようになりました。それは、私のように健康で何ひとつ不自由なくのほほんと生きていて、人の痛みを分かつとしない心の不自由な人こそが本当の障害者ではないかと。

あとがきに「石を踏んだ足の痛さではなく、踏まれた石の痛

み」とあります。これは、ハンセン病を不治の病だと思いつつ込み隔離した国は、ハンセン病患者の気持ちも考えて行動してほしいと著者の伊波さんが思っていることではないでしょうか。また、彼自身が辛い目にあつたことよって、相手の立場に立つて考えることが出来、人には優しく接することが出来たのだと思えます。

私には、彼がハンセン病の差別で傷ついた心を癒すことは出来ませんが差別で苦しんだ人がいたこと、そして、現在も何らかの差別を受けて苦しんでいる人々がいることを忘れず、同じ間違いを繰り返すことのないように私たちの手で真の平等を築くことの出る未来にしたいと心から思っています。

伊波さんやその他のハンセン病患者の皆さんが真実と自由を求めて戦った勇氣に心からの拍手を送るとともに、彼らのこれからの人生が真の意味で差別を解かれ、温かく優しく包まれていくことを祈りたいと思います。



フォト ニュース

子供たちの豊かな感性と創造力を育み、各字子ども会組織の充実を図ろうと「第十八回今婦仁村子ども会まつり」が一月二十日、村コミュニティセンターで催された。



▲各字からの多彩な演目が舞台をかざった。

年々充実する、村子ども会まつりには、今年も村内全字の子ども会が出演、楽器演奏や紙芝居、地域に伝わる伝統芸能など、日頃の練習成果や活動の様子を子供たちは舞台いっぱいに表示した。今泊子ども会による勇壮な棒術では組棒の大半を女の子で占めるなど、子ども会まつりならではの光景が見られたほか、区の伝統芸能「亀の甲」に初挑戦し、おとな顔負けの演舞を見せた仲尾次子ども会では、子どもたちの演舞指導に字のジュニアリーダーがあたり、地謡を地域の人たちで受け持つなど、地域ぐるみで子ども会

大人顔まけの演舞を披露! 第18回村子ども会まつり

むらの話題

広報なきじんに
情報をお寄せ下さい。

〒905-0492
今婦仁村役場「広報なきじん」

活動を支援している様子が伺えた。そのほか、児童の少ない呉我山子ども会は、子ども達四人による手作りの大きな紙芝居を披露し、会場に詰めかけた大勢の観客を楽しませた。

今年も子ども会まつりの運営、進行をジュニアリーダーが受け持ち、一部の地域では演目の指導にもあたるなど、リーダーぶりを発揮、自主的に活動に取り組み子供たちの成長ぶりに関係者も目を細め、舞台で発表する子どもたち同様、温かい拍手が起った。また、この日、舞台の間をぬって天底子ども会と運天子ども会が乙羽園を訪問して踊りやハンドベル合唱奏を披露、おじいちゃんやおばあちゃん達を喜ばせた。



▲呉我山子ども会による手作りの紙芝居

同窓生の親睦と絆深める 第一回兼次中学校同窓生ソフトボール大会



▲老いも若きも共に汗を流した

「第一回兼次中学校同窓生ソフトボール大会」(大城裕・実行委員長)が一月二日、母校、兼次中学校のグラウンドで盛大に開催された。これは、来年四月の村立統合中学校開校と同時に廃校となる兼次中学校の同窓生有志らが同じ学び舎を巣立った同窓生相互の親睦と絆を深めようと企画したもの。

多くの同窓生が参加しやすいようにと正月帰省にあわせて開催したこともあって、当日は、若い二十歳のチームから六十歳を超える熟年のチームまで、二十チーム、約二百五十人余りの同窓生が共にソ

フトボールを楽しんだ。

栄えある第一回大会の優勝は二八期生チーム。試合終了後は同校体育館に会場を移しての大交流会が開かれ、用意された牛汁やヤギ汁のごちそうに舌鼓を打ちながら、中学時代の思い出話に花を咲かせ、今後の学校跡地の利用の方法について意見を交わしていた。また、舞台では各期からの飛び入りの余興も飛び出すなど会場は終始にぎわいを見せ、参加者らはこころゆくまで交流を深めていた。



▲優勝の喜びに沸く28期生チーム



Photo News

新春親子たこあげ大会 天小家庭教育学級「結」が開催



▲自慢のたこを手に勢ぞろいした参加者たち

天底小家庭教育学級「結」(学級長・兼次優子)の主催する「新春親子たこ揚げ大会」が一月六日、村総合運動公園で開催された。

この大会は、自作のたこを揚げて楽しむだけでなく、デザインや高さ、技術などを親子で協力しあって競い合う大会でもあり、会場には個性あふれるユニ

クなたこを手にした親子が勢ぞろいした。

この日は、ぼかぼか陽気では天候には恵まれたものの風がなく、参加した親子は広場を駆け回るなど四苦八苦。中には、うまく風をつかまえ青空に舞うたこもあれば、地面すれすれを駆け回るように飛ぶたこも見られるなど、笑いを誘う和やかな大会となった。

この日、最も高く上げたのは、一辺が一メートル近くもある大きな三連の立体たこ。製作者の与那響君(天底小六年)は「テストではもつと高く飛ばせたけど...」と風のない空を見上げちよつぱり残念そうに話した。

そんな中、主催者の一人は「来年はぜひ、おじいちゃんやおばちゃんも交え、家族の絆が深められる大会にできたらいいですね」と語った。



▲激しい攻防を繰り広げた男子の部

汗とび散らせ各コートで熱戦!! 新春バドミントン大会に16ペア参加



▲100人余りの参加者が大きな掛け声に合わせて、もちつきを楽しんだ

飛躍の年誓い力強くもちつき 村社協が「もちつき大会」でふれあい交流

地域のボランティアや福祉関係者など、参加者らの親睦と社会福祉への理解を深めようと村社協(会長・上間敏雄)主催の「新春もちつき大会」が一月十二日、中央公民館の中庭で開かれた。この日は村身障者授産施設「おとぼ学園」の園生をはじめ、民生児童委員や家族連れなど約百

人が参加、この一年の飛躍を胸に力強くもちつきを楽しんだ。家族で参加し、はじめてきねを手にした興那嶺宏実(六)ちゃんは「ちよつと重かったけどつくのは楽しかった」と笑顔を浮かべ、つきたてのおもちが入ったぜんざいをおいしそうにほおばった。

愛好者の親睦と競技力の向上を目的とした第五回今帰仁村新春バドミントン大会が(主催・今帰仁村教育委員会)が一月二十日、村民体育館で開催された。

この日は日頃の練習の成果を試そうと村内から男女合わせて十六ペアが参加、各コートで汗を飛び散らせる白熱した試

成績結果

男子の部

- 優勝=石川清和(渡喜仁)
- 座間味薫(仲宗根)
- 準優勝=玉城涼(北山高校)
- 当山和博(北山高校)

女子の部

- 優勝=與那嶺陽子(仲尾次)
- 我那覇稜子(仲宗根)
- 準優勝=大城京子(仲宗根)
- 川上ナリ子(湧川)

注目の男子決勝戦は、玉城、当山の高校生ペアと四時代の石川、座間味ペアの対戦。試合は体力に勝る高校生ペアを、終始うまいゲーム運びで抑え、ポイントを重ねた石川、座間味ペアが初優勝を果たした。

合を繰り広げた。

新年の「初走り」に快汗 新春ロードレース大会に三〇九人参加



▲一斉にグラウンドを飛びだす年代別及び女子の部

「早春の今帰仁を駆け」
新年恒例の「第二十四回今帰仁村新春ロードレース大会」が、村運動公園を発着点に行われ、村内外からエントリーした三百九人のランナーが各種目で健脚を競い合った。

レースは一般の部を皮切りに年代別、女子、中学生、小学生の部と順次スタート。時おり吹く冷たい風にも負けず、沿道の家族や友人らの盛

第24回新春ロードレース大会記録一覧表

は大会新記録
は大会タイ記録

種目	1位			2位			3位		
	氏名	記録	出身	氏名	記録	出身	氏名	記録	出身
小学3年男	上間 光	4'07	天底小	松田 竜治	4'13	今小	上原 翔剛	4'16	高嶺小
女	新垣 千夏	4'09	アンテロープ	安里 結	4'10	アンテロープ	多和田早紀	4'15	アンテロープ
4年男	金城 幸翔	3'47	頼喜田小	木村 淳	3'48	アンテロープ	松田 学	3'48	天底小
女	安里 真子	3'50	アンテロープ	根間愛依香	3'56	豊見城	山城さつき	4'00	兼次小
5年男	ハーツ勇紀	7'27	アンテロープ	仲村準雄太	7'37	津嘉山	上里 和弥	8'11	アンテロープ
女	玉城 信恵	7'47	アンテロープ	仲村 風子	8'42	天底小	仲村 利紗	9'04	兼次小
6年男	金城 聡大	6'58	古宇利小	上原 真剛	7'27	高嶺小	諸喜田 繁	7'47	兼次小
女	安里 巴美	8'24	神戸市	新垣 夏澄	8'34	アンテロープ	知念賀奈子	8'48	アンテロープ
中学 男子	宮城 洋介	9'51	本部中	親川 陽平	10'29	本部中	長浜圭志朗	10'32	本部中
女子	福里 葉梨	7'04	本部中	仲井岡ちひろ	7'18	本部中	安里真梨子	7'24	高嶺中
一般・高校男子	幸良 英徹	33'33	沖縄市	諸喜田 寿	35'12	兼次	佐久川 大	36'02	北山高
女子	仲間 希帆	11'21	名護高	比嘉 祥子	11'21	名護高	花城早希子	11'22	名護高
30代	阿次富吉光	17'07	大里村	前原直樹	17'24	宜野湾市	本村 三男	19'52	名護市
40代	上原 秀俊	10'58	糸満市	仲村渠盛正	11'00	南風原	友利 芳弘	11'08	名護市
50代	新城 正男	11'34	天底	仲本 光秀	13'36	今泊	田港 朝茂	14'51	謝名

んな声援に励まされ、参加者らは新年の「初走り」を満喫した。

また、今年の大には昨年の暮れ、県代表として全国高

校駅伝大会に出場した名護高校女子駅伝部のメンバーをはじめ、九州高校駅伝大会に出場した地元、北山高校の男子駅伝部も参加し大会を盛り上げたほか、この日は、九つの大会新記録と一つの大会タイ記録が誕生するなど、好記録が続出するハイレベルな争いは観客を大いに沸かせた。

2002年今帰仁村成人式
大人の自覚新たに
工夫こらした式典で新成人祝う



▲色とりどりの着物に身を包み晴れやかな表情を浮かべる新成人

村の未来を担う若者達の二十歳を祝う平成十四年の今帰仁村成人式が一月四日、村コミュニティセンターで開催された。

式典では仲里吉徳村長が「ふるさと今帰仁を誇りとし、学ぶことを忘れず夢と希望にむかつて精一杯チャレンジする勇氣を持ち続けて下さい。」と激励すると、新成人を代表して大城俊樹さんが「これまで深い愛情をもって育ててくれた多くの人への感謝を忘れず、人を思いやる豊かな心と二十一世紀に大いなる夢と希

望をもって自分を磨き、素晴らしい人生を切り開いていきたい。」と決意を述べた。

また、今年の成人式も村青年会による工夫をこらしたユニークな式典が用意され、新成人のビデオメッセージのほか、天底青年会によるエイサー、村青年会によるお笑いコントなどの余興を披露。そのほか、乾杯のセレモニーでは先輩たちから新成人の皆さんに祝いのシャンパンを注ぐ光景も見られるなど、終始あたたかい雰囲気の中で式典が進められた。



▲消防署員、消防団員が整列し無災害の祈念と防火思想の普及高揚を図った

**消防
出初め式**

一年間の無災害を祈念

功労者三十二人の表彰も行う

新春恒例の本部町今帰仁村消防組合「出初め式」が一月六日、同消防本部構内で行われ、来賓多数が見守る中、消防職員四十一人、消防団員六十人が参加し、人員報告・服装点検などが行われた。

出初め式は、今年一年の無火災・無災害の祈念と消防職員・消防団員の防火思想の高揚と一般住民の防火思想の普及高揚を図る目的で毎年行われる

新春恒例の行事。式典では、

消防組合管理者の仲里吉徳今帰仁村長の訓辞や来賓の方々による激励のあいさつのあと、長年にわたり消防活動へ献身的に協力された功労者への表彰も行われた。

なお、村出身者の表彰者は次の通り。

全国消防長会表彰

永年勤続功労者

消防署員 (勤続二十五年)

川上 勉 [字天底]

山城 哲也 [字玉城]

消防団員 (勤続十五年)

宇根 哲也 [字仲宗根]

山城 正樹 [字仲宗根]

沖縄県消防協会表彰

優良職員・団員

消防団員 (勤続五年)

久田 順治 [字仲宗根]

山川 宗一 [字仲宗根]

新城 光樹 [字仲宗根]

沖縄県消防協会特別表彰

内助の功 (二十五年)

謝花 絹代 [字仲宗根]



▲パレードで110番の正しい使い方を呼びかけた

110番

『ウマ〜く! 利用して』

今年の干支・馬を先頭にパレードでPR

多くの人に正しい110番の利用方法を知ってもらおうと本部警察署主催の「街頭パレード」が一月十日「110番の日」に行われた。

パレード出発式では仲宗根盛徳副署長が「正しい110番の利用で安全で住みよい地域を創り出そう」とあいさつ。その後、参加者を代表して金城宏・仲宗根区老人会会長が「事件、事故の際にはためらわず、落ち着いて110番通報を」と呼びかけた。また、役場前から山岳交差点までのパレードでは今年の干支にちなんで馬(ポニー)を先頭に参加者五十人余りが行進。道行く人に「110番通報への理解と協力を訴えた。

兼次で区長代わる

任期満了に伴い、一月一日付で字兼次の区長が大山直人さんから玉城旭さん(兼次七二番地)に代わりました。

これまで区の発展と村行政にご尽力いただいた大山さん、大変ご苦労様でした。



▲兼次区長 玉城旭さん

また、新区長に皆様のご協力をよろしくお願いします。

**交通安全願い
折りづる配布**

村商工会女性部



年初めの一月四日、村役場前交差点において村商工会女性部(諸喜田絹代部長)の会員らが交通安全を祈願した「折りづるのお守り」を配布した。この日、用意されたお守りは約八百個。和紙の折りづる二羽を連ねた会員手作りの自信作。近くの拝所で安全祈願も済ませたこともあって「たくさん願いを込めてますよ!。」と笑顔で信号待ちのドライバーらに手渡し、安全運転を呼びかけた。

保健婦 だより

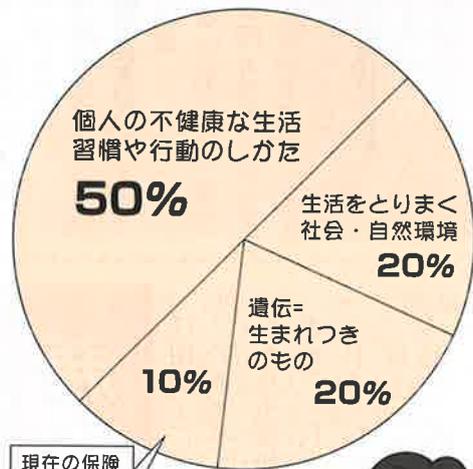
あなたは健康について
考えてみたことが
ありますか？

～これからの健康づくり～

毎年二月一日～七日は、「生活習慣病予防週間」です。がん・高血圧・糖尿病など、生活習慣のあり方が深く関わっている病気を指します。言い換えれば、日頃の暮らしを改善すれば、十分防げる病気とも言えます。

さて、ここで少し考えてみましょう。もしあなたが「病気がなく長生きしたい」と考えたとき、果たして自分が食事や運動に気をつけてさえいれば、健康づくりは万全と言えるでしょうか？この図を見て下さい。

病気の原因と考えられる 四つの要素とその割合



規則正しい生活習慣が
丈夫な体づくりの第1歩なんだ



右の円グラフは、不規則な生活習慣や環境・遺伝（生まれつき）などの要素が（病気が原因の）死亡にどれだけ影響を及ぼしたかを表したものです。健康づくりを考えると、個人の努力はもちろんですが、環境にも目をむけることが必要ということが、このグラフからわかりますね。

これから求められる 健康づくり

日本はすでに平均寿命では世界一の座を獲得しており、今帰仁村も例外ではありません。そんな中で、より豊かな生き方が求められています。今帰仁村でそれが実現される

ためには、一人ひとりの生活の質を高めることのできる「健康な村づくり」が必要なのです。

今帰仁村における 健康づくり

村においては、従来から行われている健康教育や相談・住民健診など個人に対する取り組みに加え、健康村づくりを目指しての、ゆいまーる地区健康づくり事業・保健推進員育成教室を行っています。ゆいまーる健康づくり事業では、区長・民生委員・保健推進員や老人会・婦人会等が関わっており、区民への呼びかけやおやつ・会場準備・



▲次回のプログラムの内容をみんなで話し合っています。(今泊ゆいまーる)



▲保健推進員さんが「自分でできる操体法」を伝えているところです。(古宇利ゆいまーる)



▲与那嶺ゆいまーるの忘年会では、保健推進員さんと料理の得意な字の皆さんが協力して豪華な料理をふるまっていました。

それを支援しています。個人をとるまく環境が変われば、よりよい健康におのずと向かっていけることでしよう。村民の皆さん一人ひとりが、健康村づくりの一員です。健康について共に考えていきましょう。

ボランティアの募集

保健推進員やゆいまーるの事業などへのボランティアは、常時募集しています。詳しくは村役場保健予防課（保健センター）までお問い合わせ下さい。

保健センター ☎ 56-1234

Information

くらしの **知**って**得**する**情報**

**福祉課からの
お知らせ**

おむつ代を助成します!!

沖縄県老人福祉医療助成金支給事業・今帰仁村老人福祉医療助成金支給事業

1. こんなとき

在宅の寝たきりのお年寄りを介護していますが、おむつ代が
さんで困っています。

2. こんな方に

65歳以上のお年寄りで、在宅(病院入院含む)において1日の
大半を寝たきりの状態で過ごしている方や、または、痴呆症に
より排泄におむつの使用が必要と認められる状態が6ヵ月以上
継続している方。ただし、老人ホーム、老人保健施設等の介護
保険適用施設に入所している方、生活保護受給者、認定基
準所得(約100万円)を超えている方などは除かれます。

3. こんな手当を支給

県:月額……7,500円
村:月額……2,500円(合計10,000円)

4. 申請するには

診断書・所得証明書・住民票抄本・預金通帳の写し・健康
保険証・医療受給者証



詳しいお問い合わせ
福祉課・老人福祉担当 ☎56-4189

村
育英会

育英資金をお貸しします

～お申し込みは3月1日より～

今帰仁村育英会(仲里吉徳会長)では次の通り、高校生、
専門学校生、大学生を対象に育英資金借入れ希望の方
を募っています。

●**貸付金額(月額)**

高校生……10,000円以内
県内大学生・専門学校生…20,000円以内
県外大学生……25,000円以内



●**貸付対象**

今帰仁村に住所のある方の子弟で高校、専門学校、
大学に進学または在学している方で経済的な理
由により就学が困難な方。

●**申請期間**

3月1日～3月31日

☆手続きの詳しい方法は学校教育課・育英係
(☎56-2645・56-2647)までご連絡をお願いします。

お知らせ



**軽自動車の抹消(廃車)
手続きはお済みですか?**

軽自動車税は4月1日現在、所有する方に対し年税が課さ
れます。不用になった軽自動車(125cc未満のバイクも含む)
でも4月2日以降に抹消手続きを済ませた場合は年税を納
めていただかねばなりません。(軽自動車税には月割課税は
ありません。)

現在、故障や車検切れ等により抹消手続きを必要とされる
車輛をお持ちの方は、3月末までにその手続きを済ませて下
さい。

お問い合わせ 役場税務課 ☎56-2105

固定資産税課税台帳

縦覧は3月1日～3月20日まで

平成14年度の固定資産税の基礎となる固定資産税課税台帳(土
地・家屋・償却資産の価格などを記載した台帳)の縦覧を次のと
おり行います。

これは、平成14年度の賦課期日(平成14年1月1日)現在に所
有されている固定資産について記載したものです。この際に家屋
の有無、土地の現況地目等をご確認くださいようお願いいたします。

- ◎期間 3月1日～3月20日(土、日を除く)
- ◎時間 午前8時30分～午後5時15分まで
- ◎場所 村役場税務課固定資産税係

※本人以外の資産については、所有者の委任状が必要です。

祝 北部保健所50周年記念事業

～誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざして～

記念講演&シンポジウム

テーマ『保健所の過去・現在・未来』
講師 沖縄大学教授 吉田朝啓氏

と き 2月27日(水)午後1:30～4:30
ところ 名護市民会館 中ホール
申し込み・お問い合わせ 北部保健所 ☎52-2714

国民健康保険から
新制度スタート

「出産費資金貸付制度」

1月より
開始!!

夫婦が安心して出産を迎えることができることをねらいとして「出産費資金貸付制度」を創設しました。この制度は国保被保険者で出産育児一時金(30万円)の支給を受けることが見込まれる世帯主に対し、一時金の支給を受けるまでの間、貸付金(出産育児一時金見込額の10分の8を限度)として貸し付け、実際に出産して出産育児一時金が支給された時点で貸付額と相殺するものです。

貸付の対象者は「出産予定日まで1ヵ月以内の被保険者」・「妊娠四ヵ月以上の方で医療機関に一時的な支払いが必要となった被保険者」が申請できます。ただし、国税の滞納世帯については国税を完納した後に受付けます。



申請に必要なもの

- 1、医療機関等による証明書
- 2、保険証
- 3、印鑑
- 4、振込先通帳

問い合わせ

役場住民課・国保担当

56-2101(内線155)

平成13年度

国民健康保険証の切り替えについて

(お知らせ)

国民健康保険証の切り替えを右記の日程で行います。現在使用中の保険証と印鑑を持参して下さい。

国民健康保険制度は皆様からの保険税収入と国の補助金により保険給付費等の費用を賄うことを原則とした社会保障制度です。皆様が納付された税金の割合が全体の93パーセント以下であれば、国の補助金からペナルティとして5パーセント(約1千4百万円)が減額されることとなります。国保はみんなで支えあう制度ですので、滞納することは、加入者のみんなに迷惑をかけることとなります。切り替え時までには必ず納めていただきますようお願いいたします。



保険証更新日程 場所：各字公民館

字名	月日	曜日	時間
今泊	3月4日	月曜日	午後5時～7時
兼次	3月5日	火曜日	" ~6時30分
諸志	3月5日	火曜日	" ~6時30分
与那嶺	3月6日	水曜日	" ~6時30分
仲尾次	3月6日	水曜日	" ~6時30分
崎山	3月7日	木曜日	" ~6時30分
平敷	3月7日	木曜日	" ~6時30分
越地	3月8日	金曜日	" ~6時30分
謝名	3月8日	金曜日	" ~6時30分
仲宗根	3月4日	月曜日	" ~7時
玉城	3月11日	月曜日	" ~6時30分
呉我山	3月11日	月曜日	" ~6時30分
湧川	3月12日	火曜日	" ~7時
天底	3月12日	火曜日	" ~6時30分
勢埋客	3月13日	水曜日	" ~6時30分
渡喜仁	3月13日	水曜日	" ~6時30分
上運天	3月14日	木曜日	" ~6時30分
運天	3月14日	木曜日	" ~6時30分
古宇利	3月15日	金曜日	午前10時～12時

* 3月1日～31日間は村役場国保窓口で更新を行っています。各字で更新できない方は役場窓口を御利用下さい。

～自動車事故により重度後遺障害者となられた方へ 介護料支給制度改正のご案内



平成13年7月から改正されました。

◎対象となる方

自動車事故により、脳、脊髄または胸腹部臓器を損傷し、後遺障害の程度が右図に該当(相当)する方が対象です。

◎支給される額

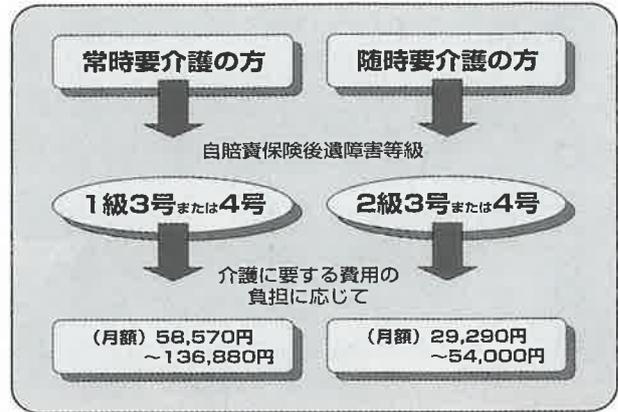
支給額は、右記の範囲内で在宅介護サービス・短期入院等の負担額に応じてお支払いします。

◎支給の方法

従来の日額制から月額制に変わります。

◎支給の期間

受付の行われた日の属する月から受給資格が喪失した事由の発生した日の属する月まで。



くわしいお問い合わせは・・・

自動車事故対策センター沖縄支所

那覇市前島2-21-13 ☎(098)862-8667

※交通遺児等への育英資金の貸付も行っております(右記参照)

育英資金の貸付のご案内

自動車事故によって、一家の柱である働き手が死亡したり、重度の後遺障害が残ることとなった被害者の子弟の健全な育成を図るため、当センターでは、中学校卒業までの遺児等対象に以下の育成資金の貸付けを行っています。

★貸付対象者

自動車事故により死亡した方はまたは重度の後遺障害が残った方の子弟(中学校卒業まで)

★貸付金額

1人につき最初一時金15万5千円、以後月額2万円
小学校、中学校入学時に入学支度金4万4千円

★貸付期間 貸付決定時から中学を卒業するまで

★利子 無利子

★貸付金の返還 貸付期間終了後6ヵ月または1年経過後から返還していただきます。(高校、大学等への進学者は卒業まで返還を猶予)。

※申込・お問合せは

自動車事故対策センター沖縄支所まで

那覇市前島2-21-13 ☎(098)862-8667

ご寄付

村社会福祉協議会へ

○神山ウトさん(謝名七二)より夫、康忠様の香典返しとして十万円

○平山勲さん(宜野湾市伊佐三・二五・十五)Ⅱ渡喜仁出身Ⅱより、退職記念として五万円

○新城生子さん(今泊四六八〇)より夫、正雄様の香典返しとして五万円

○大城和也さん(謝名二二三)より父、善盛様の香典返しとして十万円

村育英会へ

○城間恪さん(今泊八三)より御息、肇様の香典返しとして十万円

○新垣鶴江さん(諸志三八二)より夫、正春様の香典返しとして十万円

○宮里政次さん(那覇市牧志三・二二・五三)Ⅱ越地出身Ⅱより、トーカーチ(米寿)祝い返しとして十万円

○新城生子さん(今泊四八〇六)より夫、正雄様の香典返しとして五万円

○今帰仁中学校二八期生・同窓会二五周年代表Ⅱ嘉陽正子さん(湧川六四六)より、人材育成資金として一万円。ご芳志ありがとうございました。

表紙・「美しき空間」



ちゅら どうくま

北山高校 2年
田中 麻美

まだ寒さの残るここ沖縄、春の訪れる桜の花がとてもきれいだったので撮りました。これからも今帰仁の風景を撮っていきます。

2月/如月

1	金	
2	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン) ○沖縄県一周駅伝大会(〜3日まで)
3	日	
4	月	○健康相談(9:00~12:00 保健センター) ○ゆいまーる事業(与那嶺)
5	火	○区長会(14:00~2階会議室)
6	水	○リハビリ ○第12回ふれあい少年の翼(〜10日まで) ○ツ反(14:00~14:30受付)
7	木	○ゆいまーる事業(仲尾次)
8	金	○ゆいまーる事業(渡喜仁・運天) ○BCG(14:00~14:30受付) ○村・県民税申告(今泊9:00~15:00)
9	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)
10	日	
11	月	○建国記念日
12	火	○ゆいまーる事業(諸志)
13	水	○リハビリ ○ゆいまーる事業(呉我山) ○村・県民税申告(兼次13:30~16:00)
14	木	○1才児半・3才児健診(13:00~ 保健センター)
15	金	○ゆいまーる事業(今泊)○ふれあい少年の翼事後研修(18:00~中公) ○村・県民税申告(仲尾次9:00~11:30) ○ " (与那嶺13:30~16:00)
16	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン) ○セリ市(10:30~ セリ市場) ○今帰仁村婦人会「演芸のつどい」(15:00~コミセン)
17	日	○青少年少女ホッケー交流会(9:00~ ホッケー場)
18	月	○健康相談(9:00~12:00 保健センター)○ツ反 ○村・県民税申告(平敷 9:00~11:30) ○ " (崎山 13:30~16:00)
19	火	
20	水	○区長会(14:00~2階会議室)○リハビリ○ゆいまーる事業(古宇利) ○村・県民税申告(謝名 9:00~11:30) ○ " (越地 13:30~16:00)○BCG

21	木	
22	金	○村・県民税申告(仲宗根 9:00~15:00)
23	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン) ○乳児健診(13:20~保健センター) ○親子ふれあい劇場アニメ「ハッピーバースデー」上映(14:00~ コミセン)
24	日	
25	月	○健康相談(9:00~12:00 保健センター)○農業委員総会 ○村・県民税申告(呉我山 9:00~11:30) ○ " (玉城 13:30~16:00)
26	火	○世界遺産登録記念フォーラム (13:00~17:00 コミセン)
27	水	○リハビリ ○村・県民税申告(湧川 9:00~15:00)
28	木	○デイケア

親子ふれあい劇場
アニメ「ハッピーバースデー」上映

入場料：1人400円(3才以上)
と き：2月23日(土) 午後2時~
と ころ：村コミュニティセンター
主 催：村青少協・村子ども会・村社協

3月/弥生

1	金	○県立北山高校卒業式 ○村・県民税申告(天底 9:00~15:00) ○固定資産税課税台帳縦覧(〜20日まで)
2	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)
3	日	
4	月	○健康相談(9:00~12:00 保健センター) ○村・県民税申告(渡喜仁 9:00~11:30) ○ " (勢理客 13:30~16:00)
5	火	○区長会(14:00~ 2階会議室) ○ゆいまーる事業(与那嶺)
6	水	○リハビリ ○村・県民税申告(運天 9:00~11:30) ○ " (上運天 13:30~16:00)
7	木	○ゆいまーる事業(仲尾次) ○歯科相談(13:00~ 保健センター)
8	金	○村・県民税申告(古宇利 10:00~15:00)



環境を大切に!! 燃えるゴミ・燃えないゴミは、指定袋で出しましょう!! =保健予防課=

毎月第2・第4日曜日開催中!!

新鮮な魚介類を安価で販売

朝市

だよ~!

と き：毎月第2・第4日曜日 午前9:00~
と ころ：運天漁港内
主 催：今帰仁漁協

世界遺産登録記念フォーラム

日時：2月27日(水) 13:00~17:00
場所：村コミュニティセンター **入場無料**
主催：今帰仁城趾・世界遺産登録記念事業実行委員会

今帰仁村婦人会「演芸のつどい」

第一部/演芸 第二部/歌悲劇、中城情話

と き：2月16日(土) 午後3時~ 入場料：1,000円
と ころ：村コミュニティセンター